宿場周辺TOPICS

●宿場JAPAN/宿場トラベル

今年も、地域課題解決型のツアーや交流プログラムに力を入れて取り組む予定です。

増え続けるインバウンド来訪者により、品川宿エリアでの民泊含む宿泊施設は急増していますが、16年間地域と歩んできた実績を活かし、オーバーツーリズムを防ぎ、地域に配慮した旅行者とまちの交流をつくる窓口を目指します。

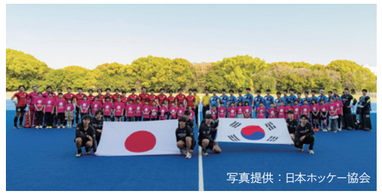
お祭りや地域コミュニティが象徴する無形の価値を可視化し、住民交流を伴う旅行・交流事業を造成して人気を博しています。昨年取得の持続可能な観光認証（GSTC）も活かして、今年度は、ジュネーブ品川周年事業やモンゴル高専の企業訪問、品川宿ローカルキャンプ、ラクロス女子W杯、松川町との若手交流ツアー、北海道襟裳岬、浦河町地域からの視察受け入れなど多彩な交流を実施予定です。30年ぶりに一心寺成田山バスツアーも催行予定で、より一層の地域活性化に貢献していきます。

（宿場JAPAN/宿場トラベル　渡邊（玉井））



●大井から、ロサンゼルスへ

ホッケー日本代表の新たな挑戦が始まりました。4月には大井ホッケー競技場で、男女日本代表と韓国代表による国際親善試合を開催し、多くの地域の皆様から温かいご声援をいただきました。選手たちはこの試合を弾みに、8月のワールドカップ（オランダ・ベルギー）、そして9月の愛知・名古屋アジア競技大会へ挑みます。アジア大会は、2028年ロサンゼルスオリンピック出場権を懸けた重要な大会です。大井での熱い応援を力に、世界へ挑む日本代表への変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。（日本ホッケー協会　事務局長　坂本 幼樹／北品川在住）



写真提供：日本ホッケー協会

●天王洲アイルについて

この夏から秋にかけて、水辺を起点にまちを楽しむ取り組みが続きます。一般社団法人 天王洲・キャナルサイド活性化協会では、8/21（金）・22（土）に「アイルしながわ」を会場として『天王洲夏夜祭 with 怪談ナイト』を開催されました。マーケットや飲食、こどもプールに加え、夏の夜ならではの怪談企画も予定されており、同日には『しながわクルーズ2026』夜便も運航。水辺を船でめぐり、イベントを通じてまちを楽しむ体験は、秋のアートシーズンへとつながっていきます。10月には『TOKYO ATLAS』『MEET YOUR ART FESTIVAL』『TENNOZ CANAL FES』『TENNOZ PLACE』、11月には『天王洲水上オペラ2026 ～Harmonious nights between art and canal～』も開催予定です。一般社団法人エリアマネジメントTENNOZとしても、地域団体や事業者の活動に協力し、水辺・イベント・アートをめぐる回遊と交流が生まれるまちづくりを進めていきます。

詳細は、天王洲アイルの公式HP（@TENNOZ）および天王洲・キャナルサイド活性化協会の公式HPをご確認ください。

（（一社）エリアマネジメントTENNOZ事務局・広報部　松岡 久美子）



●しながわ宿場まつり2026

「しながわ宿場まつり」とは、しながわの歴史と文化を感じ、楽しんでいただくイベントで、今回で33回目となります。

もう40年近くも続くこのイベントは地域の魅力を発信し、多くの人々にしながわの良さを体験して頂く地域の為のイベントで、伝統を大切に守りつつ、新しい風を取り入れて、子供達の未来へつなぐために今年も盛り上げて行きたいと思います。



それには今年も「会報みこしだこ」読者の皆さんと共に地域の絆を深め、観光振興や地域活性化にも貢献できるよう努めたく思いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

（しながわ宿場まつり実行委員会 大橋 登）

●予定通りいかないから、おもしろい

冒険ひろばでは、「今日はこれをしよう」と思っても、その通りに進むことはほとんどありません。ジュース屋さんをやるんだと言っていた子どもたちが、突然水遊びを始め、いつの間にか泥で料理をつくり、それもほったらかして蝶を追いかけている。遊びは次々と姿を変え、思いがけない方向へ広がっていきます。大人から見ると寄り道や遠回りに見えることも、子どもにとっては、その一つひとつが心を動かされる発見なのかもしれません。

大人はつい、予定通りに進めたくなります。でも、子どもたちを見ていると、予定が変わるからこそ出会える発見や、新しい景色があるのだと気づかされます。

私たちも、ときには予定から少しだけ外れてみませんか。いつもと違う道を歩いて帰る。気になっていた公園に立ち寄る。少しだけ時間の使い方を変えてみる。そんな小さな「予定外」を楽しめる心の余白は、子どもたちの「やってみたい」や、思い通りにいかない時間を、温かく見守る力にもつながるように思います。

子どもたちの遊びが窮屈にならない地域は、大人も少し自由に暮らせる地域なのかもしれません。（栩秋 太洋）



●音楽イベント「人と麦と音」を開催しました

2026年9月5日（土）、本照寺にて第4回「人と麦と音」を開催しました。

音楽や食を通して、地域の方も初めて品川宿を訪れる方も一緒に楽しみ、会場では久しぶりの再会や新しい出会いも生まれました。

本照寺をはじめ、地域の皆さまのご協力に心より感謝いたします。これからも品川宿らしい、人が出会い、自然に混ざり合う場を育てていきたいと思います。



●World ENNICHI 2026～2027

台湾、韓国、メキシコ、奄美・琉球、ドイツ、信州に続き、4月の「タイの夜」で7回目となる世界縁日。いつもの呑み仲間たちと、食べたい世界のつまみとお酒を準備して、「地元で大公開飲み会しちゃおう！」をテーマに年2回、本照寺で開催。前半は子づれ家族が多く、後半は知った顔が加わってきて、はじめましてからまた会ったか！まで、イベント主催側がとにかく楽しむことを最優先してます。来年は、4月29日（水・昭和の日）、11月3日（水・文化の日）で日程決定。次はどこを食そうかな（笑）お楽しみに！

（みろくカフェ わだふじこ）



特別事業

令和7年度「東海道品川宿の観光PR事業」

（1）品川宿交流館での資料展示

「鳥の目で見た、200年前の品川宿～南品川を中心に～」

展示期間：2025年9月27日～2026年3月末。

昨年度に引き続き「江戸名所図会」を取り上げ、南品川を中心とした展示を実施した。江戸名所図会では品川宿が実に23ヶ所も描かれており、昨年度その内の10図会（北品川と猟師町）、そして本年度は残りの13図会、南品川宿～鈴ケ森を中心に展示し完結版とした。また本年度はドローンによる空中からの撮影に本格的に取り組み、より分かりやすい変化に富んだ展示とすることができた。江戸名所図会も錦絵も、この時代は空中から俯瞰して描いた絵が多く、ドローンで撮影した写真との親和性が高く、見る人の興味、関心も高まり、非常に効果的であった。

来館者数：今年度の品川宿交流館の来館者数は14,307人であった。

（2）まち歩きの実施

交流館での展示と田中さんの講座+まち歩きの参加者。



歴史講座+まち歩き「江戸名所図会で、200年前のまちを探そう！」

自主開催2回を含め、合計4回開催。

講師／まち案内人：田中義巳（街道文庫主宰）

1回の定員を上限10名として募集したが、4回の合計37名の参加があった。

（佐山 吉孝）

旧東海道品川宿周辺
まちづくり協議会
会員募集のご案内

まちづくりはみんなでたのしく！
どんな提案もオッケー、どなたでも
ウェルカム、すべてオープンです。
品川宿では今日もどこかで
何だか楽しそうなことが動いています。

活動詳細はQRより
ホームページをご覧ください。

◎年会費：団体・法人 30,000円
個人 10,000円
品川区北品川2-28-19 品川宿交流館
電話 03-3472-4772 FAX 03-3472-4770
メール machikyo@west.cts.ne.jp

発行：旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会

東海道品川宿

宿場会報みこしだこ

2026年
新年度版
2026年9月発行 第66号

新年度挨拶

総会、例大祭も無事に終えて、今はちょっとホッとしているところです。

さて一昨年の私のケガ以来、皆様には大変ご心配をいただき、またご迷惑をおかけしました。この場をお借りして御礼とお詫びを申し上げます。本当にお世話になりました。ありがとうございます。特に事務局の若手スタッフたちは文字通り私の手足になって東奔西走してくれました。どれだけ感謝してもしきれません。

おかげさまでケガの方はもうほとんど良くなり、杖も支えに使う程度で、身体の方はむしろ以前よりも健康になったように感じています。

さて、先の総会では玉井崇志（旧姓・渡邊）さんが副会長に推挙され承認されました。彼はもともと品川っ子ですが、17年前から北品川でゲストハウスを始め、直後の東日本大震災やコロナ禍にもめげずに事業を広げ、南馬場にも一棟貸しの古民家ホテルを開き、元協議会副会長の今は亡き鈴木洸二郎さんの跡を取って南馬場商店会の会長を引き受けてくれています。またそれとほぼ同時期に結婚され、今は一心寺で仏門の修行を積んでいるという、誠に華々しい人生を送っている人物です。これで玉井さんを加え、副会長が5人という新体制になったわけですが、こうしてみるとみなさん、それぞれの地域でバリバリに活躍している本当に頼もしい面々です。私がこの協議会の会長に推された37年前も、それぞれの地域の錚々たる方々が、当時まだ若造だった私を支えてくださいましたが、今の副会長もそれに勝るとも劣らぬ面々で（体格もさることながら）、最強です。そしてみなさん若い。一緒に並ぶと私一人が目立っていけません。だからということではありませんが、来年あたり、みなさんに良い報告ができればと考えています。

それではみなさん、新年度も共にまちづくりを楽しみましょう！



旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会
会長　堀江 新三

運営委員会

毎月最終火曜日20時から、品川宿交流館で運営委員会を開催しています。

「このまちで何かをやってみたい！」「まちづくりに興味がある！」「参加してみたい！」という方なら、どなたでも大歓迎です。参加しているうちに、普段何気なく歩いていたまちの見え方が変わり、人や地域との新しいつながりが生まれていきます。

まちづくりは、仲間づくり。世代や所属を超えて、一緒にまちづくりを楽しみましょう！

参加をご希望の方は、お気軽に品川宿交流館までお問い合わせください。

（竹中 茂雄）



まちの広報部

まちづくり協議会の会報誌『みこしだこ』は、まち協の活動報告として年に2回、総会前の新年度号（5月頃）と年末の新春号（12月頃）を発行しています。今年度の新年度号（5月頃）の発行が、大幅に遅れてしまい、締切厳守で寄稿いただいたみなさま申し訳ございませんでした。

今号では、品川宿地区にある小学校5校と小中一貫校2校に配属されている「学校地域コーディネーター」について特集を組んでみました。品川宿は区内でも地元愛や絆の強い地域なので、地域と学校をつなぐコーディネーターの役割はとても大きいです。是非ともその存在を知ってもらい、これからも学校と連携しながら、しながわっこたちを育んでいきましょう！（わだふじこ）

『2026東海道宿場展』開催



4月から9月にかけて「2026東海道宿場展」開催いたしました。見ていただけましたでしょうか？東海道の変遷とそこに息づく人々の歴史と現在が、いかにダイナミックに織りなして守られてきたのかを十分に理解していただけたことでしょう。

これまでの各宿の取り組みから、宿場と街道を中心とするまちづくり、町おこしに関する示唆に富む資料も多く展示しました。

（街道文庫　田中義巳）

南品川櫻河岸 まちなか観光案内所



今年度4月からも多くの方にお立ち寄りいただいています。「まちあるき」という言葉が本当に浸透しているんだなぁ～と思うほど、週末は老若男女、いろいろな方々があちこちから品川宿を訪れたり、品川宿を起点に他のまちへ歩きに出かけたりと「まちあるき」に彩りを感じます。

先日は、曾々祖父さんが住んでいた痕跡を探している、という方が訪ねてきて、街道文庫の田中さんとともに古い地図をみながら、謎解きのような出来事がありました。

また、今年は品川区「避暑シェルター」対策に登録をして、酷暑に備えました！（が、思いの外、雨の多い涼しい日が多かったですね）（わだふじこ）

交流事業

あらためて「特定非営利活動法人 歴史の道 東海道宿駅会議」って何？

東海道は日本の歴史的発展に大きな役割を果たしてきた。道が繁栄をもたらし地域づくりの根幹をなしてきた。しかし私達を取り巻く環境や経済の変化は様々な社会問題を生み、地域の風土や文化を衰退させているとの危機感から、1988年滋賀県土山宿の松山正己さんが呼び掛け、かつて繁栄した東海道の宿場について、先ずは勉強することから始めようと「東海道シンポジウム連絡会議」を立ち上げた。これに賛同し、翌年第2回目のシンポジウム大会を品川宿で開催。その後活動組織の基盤づくりが必要と考え、2003年に法人化し現在に至っている。2005年には京都大阪間の伏見・淀・枚方・守口の4宿を加え東海道五十七次とした。

主な活動は社会教育・まちづくりの推進、文化・芸術・スポーツの振興。事業として、シンポジウム大会、東海道検定、街道の歴史・文化等の学習・保存・伝承・情報発信等を行っている。

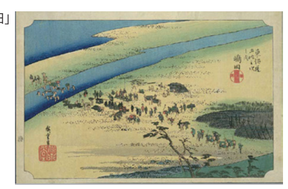
第38回東海道シンポジウム島田宿大会

今年は大井川手前の島田宿。「大井川川越遺跡」、約900メートルの木造「蓬莱橋」など見所多し。駅の周辺には飲食店も豊富なので夜も楽しみましょう。是非ご参加ください。

10月17日（土）13:30島田市地域交流センターにてシンポジウム。その後宿場交流会。

10月18日（日）島田宿ウォーキング。

歌川広重「東海道五十三次・嶋田」



第19回東海道検定

歴史好き、東海道好きの皆さん、「東海道検定」に挑戦しましょう。合格者には「東海道マイスター」の称号（ワッペン共）が与えられます。3級合格が2級受検資格となります。

来年3月14日（日）14：00、品川宿交流館にて。検定料4,000円。（長谷山 純）

景観まちづくり事業

旧東海道品川宿地区街なみ環境整備事業

旧東海道品川宿地区は品川区最初の景観重点地区です。そして区は「街なみ環境整備事業」と言う補助制度を導入し、旧東海道にふさわしい街なみづくりに貢献する建物の修景に対して修景費用の一部を補助しています。

旧東海道・北馬場通り・南馬場通り・ジュネーブ平和通りに面した建物が対象で修景工事の補助対象項目は

【A】建築物の外観修景：屋根、庇、外壁、開口部

【B】外構等の修景：設備機器、屋外階段、垣柵など

【C・D】屋外広告物の修景・その他の修景：看板、のれん、行燈、ぼんぼり

ほか、修正基準と補助金に制限があります。手続きは少々煩雑なのですが、「しながわっ子」のまち愛を後押しします。

（景観アドバイザー いよく なつむ）





生まれ変わる北品川パート4

京浜急行本線連続立体交差事業において、令和8年2月23日（月・祝）未明に、八ツ山跨線々路橋が、送り出し工法で架設されました。JR東日本在来線および東海道新幹線を跨ぐ総重量約3,300tのトラス橋が、徐々に架かっていく施工動画は、多くの人に視聴され、その関心の高さがうかがえます。また、皆さんとともに考えた新しい北品川駅のデザインが、6月に正式決定しました。旧東海道品川宿の景観に配慮したデザインになっています。デザインのコンセプトは「まちとまち、人と人とをつなぐ駅」。そんな温かな駅舎になるよう、また、このまちの文化・伝統を未来へ引き継いでいくため、地域と一体となって築き上げていきたいと思います。

（品川区 片山）



しながわっこプロジェクト

しながわっこプロジェクト

令和8年度の「しながわっこプロジェクト」は、子どもたちが“自分のまちを好きになる体験”をさらに広げていくことを目標に進めます。東海道駅伝や歴史探訪など、これまで育んできた学びの機会を大切にしつつ、地域の大人と子どもが自然に交わる新しい体験型プログラムにも挑戦します。まちの歴史や文化、水辺の魅力を体感できる活動を重ねることで、子どもたちが品川への誇りを育み、未来のまちづくりを担う存在へと成長していくことを願っています。地域・学校・PTAと連携しながら、今年度も“しながわっこ”の輪をさらに広げていきます。

（井上明裕）



水辺プロジェクト

春の運河まつり2026

私たちは、運河まつりを運営しているスタッフさんたちの食事（まかない）を作るお手伝いをしています。小学校のPTAの集まりで声がかかった事をきっかけに、気の合う仲間も集まって毎回賑やかに楽しく活動しています。

お手伝いを始めるまでは子供たちを連れて純粋にお祭りを楽しんでいましたが、今は表では分からなかった裏で忙しく動き回っている沢山の方々の姿を見ています。

皆さんのおかげで、私たちは楽しい2日間を過ごせていたんだなと実感し、その中の休憩の場でお手伝いが出来ている事は、とても貴重な経験になっていると感じています。元気だけが取り柄のまかない班ですが、お祭りを盛り上げる一役として、これからも頑張りたいと思っています。

（賄いガールズ）



水辺プロジェクト

今年度も、水辺をもっと身近に、もっと楽しくする活動を続けていきます！

春と秋のしながわ運河まつりをはじめ、東品川海上公園船着場や勝島運河の浮き桟橋を拠点に、EボートやSUPなど、ゆっくり景色を楽しめる非動力船の体験づくり・魅力づくりを行なっていきます。NPO法人なぎさの会や勝島運河倶楽部をはじめ、水辺で活動する仲間たちとも力を合わせ、水辺をもっと身近な遊び場、憩いの場へ育てていきます。

さらにこの秋、東品川海上公園にパークPFIによる新たな拠点施設が誕生しました。公園と水辺がつながることで、新しい楽しみ方もきっと生まれるはず。品川の水辺を、みんなで育て、みんなで楽しむ一年にしていきましょう。皆さんのご参加をお待ちしています！（大竹幸義）



しながわ運河まつり杯2026 少年少女サッカー大会

令和8年4月12日（日）、しながわ運河まつり少年少女サッカー大会が開催されました。当日は、品川SJC、台場コスモス、ユナイテッドFC城南、FC戸越、サインフットボールしながわの新3年生の子どもたちが参加し、元気いっぱいに熱戦を繰り広げました。

表彰式は運河まつりのメインステージで行われ、各チームには参加賞としておいしいバナナ1箱が贈られました。（子どもたちにも大好評！）また、各チームから1名ずつ優秀選手が選出され、特別賞としてFC東京ユニフォームが贈られました。これからもスポーツを通じて、地元の子どもたちを熱く応援していきます！！（竹中茂雄）



〈特集〉地域×学校　地域でしながわっ子を育む

「しながわコミュニティ・スクール」をご存知ですか？

品川コミュニティ・スクールとは、これからの時代を生きる子どもたちのために、保護者や地域の方々とともに、学校教育活動の充実と地域の教育力の活性化を図るための仕組みのことです。

品川区では、全ての区立学校で、地域の方々が学校運営に参画する「校区教育協働委員会※」、学校の教育活動を支援する「学校支援地域本部※」、そして、学校と地域をつなぐ「学校地域コーディネーター」を配置し、地域のみなさんとともにより良い学校づくりを進め、こどもたちの笑顔でつながる共生社会をめざしています。

特に、「学校支援地域本部※」では、保護者や地域の方々のお力をお借りして、学習支援、授業支援、環境整備支援などを行っています。PTAの取り組みと重なる部分もありますが、保護者という立場でなくても参加できる点が異なります。

それらの活動を実現するために奮闘しているのが、「学校地域コーディネーター」です。学校が求める専門家の方々、企業や団体、お手伝いいただける方をいろいろなネットワークを駆使してコーディネートし、学校教育の充実と先生方の負担の軽減に貢献しています。実際にどのような取り組みを行っているかは、学校によって異なっていますので、次の皆さんの紹介文をご覧ください。

※については来年4月から名称変更予定

（品川区統括学校地域コーディネーター 外山愛理）

◆品川学園
学校地域コーディネーター
扇谷和子／加瀬谷牧子

品川区立学校には「学校地域コーディネーター」という役割があるのをご存知でしょうか？一言で言えば「学校の子供たち」と「地域の皆様を」をつなぐ架け橋となる仕事です。品川学園には、2名が配置（加瀬谷牧子・扇谷和子）されています。具体的にはこのような活動をしています。

「地域のパン屋さんにパン作りを教わる」

パン作りの楽しさや食の大切さを学び、焼きたてのパンを前に児童たちの最高の笑顔があふれていました。

「昔あそび」

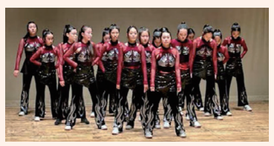
地域のシルバー会の方に、コマ・だるま落とし・おはじき等を教わり世代を超えた交流の場にもなりました。

「品川文化祭 ART！アート！あーと！」

今年度で5回目の開催となりました。品川区立中学校・義務教育学校後期課程の文化部、特別支援学級の生徒たちの作品展示、パフォーマンス発表の場として六行会ホールで行われています。品川学園からも多くの生徒が参加し、日ごろの成果を地域の皆様に見ていただく機会となっています。

【地域の皆様へのお願い】

品川学園の子供たちが、地域の方から学ぶ機会が多くあればと考えています。その際には、お声かけすることがあるかもしれませんが、地域の皆様のお力をお貸しいただければ嬉しく思います。



◆御殿山小学校
学校地域コーディネーター 土屋智宏

御殿山小学校にて学校地域コーディネーターを令和2年度より務めております土屋と申します。日頃から地域の皆様には、子どもたちの安全な登下校の見守りや学校行事への温かいご支援をいただき心より感謝申し上げます。

学校と地域が一体となり、子どもたちの豊かな学びと安心を支える活動として、本校では読み聞かせや昔遊びの伝承、地域の歴史を学ぶ授業、地域行事への参加など、地域の皆様の知恵や温かい人情に触れる機会を数多く設けています。こうした歴史ある品川宿ならではの絆が、子どもたちの健やかな成長の土台となっていることを実感しております。学校と地域をつなぐ架け橋として、子どもたちがこの街に愛着を持ち、笑顔で成長できるよう活動を続けてまいります。今後とも、温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



<学校より一言>

4月より、区内の宮前小学校から御殿山小学校に着任しました、校長の板澤健一と申します。どうぞよろしくお願いいたします。御殿山小学校は、子どもたちの成長を、学校だけではなく家庭や地域とともに支える「地域とともにある学校」を目指しています。品川区コミュニティ・スクールとして、校区教育協働委員会を中心に、保護者や地域の皆様が学校運営や教育活動に参画し、それぞれの知恵や経験を生かしながら、子どもたちの健やかな成長を支えてくださっています。また地域の皆様による見守り活動や学習支援、学校行事への協力など、多くの温かなご支援をいただいています。こうした地域と学校が協働して実施する活動を通して、子どもたちは人とのつながりや地域への愛着を育んでいます。これからも「笑顔と感謝」を大切にしながら、地域との絆を深め、子どもたちが誇りをもって学び、成長できる学校づくりを進めてまいります。

◆台場小学校
学校地域コーディネーター 和田富士子

品川生まれ、育ち、台場小学校卒業で、母校にて2022年から地域コーディネーターをしています。台場小学校は、保育園、幼稚園も併設しており、お祭りや地域（課外）学習など、商店会、町会、近隣に住まう方々などと連携を取り合うことがとても多く、2～6年生にかけて、「まち探検」「歴史探訪まちあるき」など地域を学ぶ授業が組み込まれているため、日頃から台場愛溢れる地元の協力体制に感謝しきりです！台場かもめ塾（品川地域未来塾）とともに、台場小では夏と春休み前に<グローバル台場プログラム>という放課後学習の場をつくり、理科研究、ボッチャ、救命体験や、地域で活動する指導員を招いて手話、書道など10クラスほど開催し、普段できない学習体験を子供たち自身が選択して受講しています。地域の大人と子供たちが交流するとても良い機会でもあります。今後も突然のお願いに伺うこと多々あると思いますが、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



また、同時に地域ボランティアも募集しておりますので、興味がある方はお住まいの町会などにお問い合わせください。

<学校より一言>

台場小学校には多くの職員が勤めており、子どもたちが安心・安全に学校生活を送れるように日々、努力や工夫をしています。学校地域コーディネーターもその一人。学校と地域とをつなぐパイプ役です。地域がもつ特色や人材について幅広く知識や人脈をもっているので、地域を生かした学校の教育活動には欠かせない存在です。特に、子どもたちが専門家から職業について学ぶ「ドリームジョブ」での人材集めでは、その手腕が存分に発揮されます。子どもたちが話を聞きたい業種に応じて、バラエティに富んだ方々を集め、普段なかなか聞けない話を聞く機会をつくってくれます。学校地域コーディネーターのもとには、アシスタント・コーディネーターも3名おり、学校地域コーディネーターのサポートはもとより、毎週水曜日の「かもめ塾」で子どもたちの学習補助もしています。（三浦副校長）

◆東海中学校
学校地域コーディネーター 月岡明希子

東海中学校の地域コーディネーターをしています月岡です。品川に住んで30年弱になりますが、この地域ではまだまだ新しい住民、地域の皆さんとつながれることを楽しみながら活動しております。どうぞよろしくお願いいたします。

東海中学校は来年で開校80周年を迎える中学校です。イオンと高架橋をはさんで隣にあり、約400名の生徒が日々、学習と部活動の両面に熱心に取り組んでいます。地域とともに歩む学校づくりを進めるために、地域と共同した教育活動を展開しています。地域の皆さまには、日ごろから学習支援や行事協力など多方面で力をいただいており、特に8年生の職場体験、7年生の職場訪問・ドリームジョブでは、温かいご協力のもと、生徒たちが社会の仕組みや働くことの意義を学ぶ貴重な機会となっています。また、放課後の自習室の未来塾での見守りも地域のボランティアの皆様方にお世話になっております。

地域と学校が互いに支えあいながら、生徒たちの未来をはぐくむ取り組みを今後も進めていきます。



◆浅間台小学校
学校地域コーディネーター 北見明子

学校地域コーディネーターの北見です。生まれも育ちも品川っ子の私です。昔から知っている地域の方々とコミュニケーションを取り、可愛い児童たちのために日々、コーディネーター職に奮闘しています。

本校、浅間台小学校は旧東海道品川宿周辺から少し離れた場所に位置しており、最近オープンした大井町トラックスが校庭からよく見えています。創立106周年を迎え、教育目標・よく考える子・思いやりのある子・健康な子を軸に毎日明るい声が響く学校です。

また、地域との繋がりを大切にしており、本校では地域交流として近隣の特別支援学校との交流や近隣保育園と『スクールステイ』、地域児童センターとの交流として赤ちゃんふれあい事業『赤ちゃん交流』など行っています。毎年12月には地域貢献として『浅間台クリーンレンジャー』では児童が縦割り班になり学校周辺や自分達が毎日通っている通学路を清掃します。

他にも、地域住民の方々の支援ボランティアや品川地域未来塾（放課後学習室）の学習支援・指導をしていただき地域住民の方々からも児童が日々成長していく姿を見守っていただいています。

これらの活動を行うために「学校地域コーディネーター」が日々活躍しています。学校が求めていることを把握して人材発掘や地域で活躍している方を探し学校へ繋いでいます。品川音頭や地域の歴史など、学校地域コーディネーターが持っている知識や人脈を生かして活動に励んでいます。

旧東海道品川宿は歴史も深く、自分が住み育った地元の歴史を学ぶにはとても良い環境だと思っています。

◆城南小学校
学校地域コーディネーター 石井義人

毎年6月の初旬、荏原神社のお祭りが行われます。城南小学校のエントランスは、お御輿広場と名付けられていて、1年中お御輿が2基飾られています。

城南小学校の1・2年生、城南幼稚園では、お祭りの最初の日に合わせて、「おまつりごっこ」を実施しております。2年生が作った手作り御輿を1年生が担いで校庭を1周したり、幼稚園児が手作りの山車を引いて、御輿を担いで旧東海道を練り歩いたりします。そしてメインは2年生がお御輿広場に飾ってある本物のお御輿を担いで、旧東海道を校門から二手に分かれて練り歩きます。

コーディネーターは、地域の方々に大拍子を依頼します。本当のお祭りと同様、太鼓と笛を付けてにぎやかにします。少しでも児童たちが伝統あるお祭りに関心を持ってくれたら幸いです。そして大人は、この伝統を引き継ぐバトンを渡していけたらと思います。お御輿を担いでいる児童たちの笑顔が見られることが、コーディネーターの「やりがい」です。

◆城南第二小学校
学校地域コーディネーター 五月女祥子

城南第二小学校で、学校地域コーディネーターを務めて6年目になります。教職員、地域の皆様、保護者の皆様と共に、城南第二小学校らしいコミュニティ・スクールを目指して活動しております。



例年、3、4年生が「灯籠プロジェクト」に参加しており、図工の授業内で作成した灯籠を目黒川沿いに展示し、秋の運河まつりを盛り上げています。児童や指導する教員は、灯籠プロジェクトの経緯や込められた想い、地域に対する愛着などを感じながら、制作に取り組みます。また、5年生の市民科で「品川宿場まつり」について学習した際、しながわ宿場まつり実行委員長を講師としてお招きし、ご講義いただきました。児童から多くの質問があり、講師も、ご自身の地域に対する思いを伝えられる機会になったとおっしゃっていました。

歴史的な建造物や祭りなどの行事、それについて語ってくださる地域の方々が多くいらっしゃる地域にある強みを生かせるよう、私自身も地域についての理解を深めてまいります。また、2年後に控えた開校90周年をどのように祝うか、コミュニティ・スクールで検討を進めていきます。